一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和３年第４回定例会

令和３年１２月７日

質問順	会　派　名 氏　　名	質　問　事　項　（要　旨）
1	令和新政クラブ 小　野　　哲	1　公共施設の管理運営について 2　本市東部の道路整備について 3　本市の上下水道事業経営について
2	日本共産党議員団 山　田　千枝子	1　ゆめパレア（市民プール・健康増進施設）の休館など公共施設のあり方について市民の声を聞き説明責任をする事について 2　私道である陥没箇所の生活道路の安全対策を急ぎ安全と命を守ることについて 3　来年２月からの指定ごみ袋導入より資源ごみ回収の改善を急ぐほうがごみ減量になるのではないか
3	令和自民クラブ 松　本　美由紀	1　日本郵便（株）との地域包括連携について 2　第４向陽小学校および成安幼稚園周辺の道路の安全について 3　医療的ケア児支援法案施行に関する今後の取り組みについて
4	公明党議員団 福　田　正　人	1　市制５０周年の事業について 2　フードドライブについて
5	ＭＵＫＯクラブ 和　島　一　行	1　コミュニティスクール導入について 2　『あすもあ』の存在感について 3　信号のない横断歩道について
6	飛鳥井　佳　子	1　史跡指定された五塚原古墳の地、はり湖山を破壊する外環道路計画路線は早期に抹消することについて 2　地域の問題について 3　男性にとってのジェンダー平等の意義ある「フェアメン」キャンペーンを！ 4　公衆トイレを増やすことについて 5　若者や女性の自殺対策について
7	日本共産党議員団 北　林　智　子	1　ジェンダー平等の社会を進めることについて 2　保育行政について 3　児童発達支援・放課後デイサービスについて
8	令和自民クラブ 石　田　眞由美	1　向日市・公園アップデートについて 2　向日丘陵の持続可能な竹林保全・整備と利活用について

９	杉　谷　伸　夫	１　ゆめパレアむこうは休館せず、存続の方策の検討を ２　不登校の子の親（保護者）への支援強化について ３　児童発達支援、放課後等デイサービスの支給量について ４　向日市お買い物応援クーポンに名前・住所の記入は必要か？
１０	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　岸田内閣の政治姿勢について市長の見解を問う ２　人類の未来のための地球温暖化対策について ３　市民の声を聞き入れた牛ケ瀬勝竜寺線の変更について
１１	村　田　光　隆	１　市長選、市議選のＷ選挙実施に向けて ２　「官から民へ」民間活力で向日市を明るく元気に
１２	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　JR向日町駅について ２　森本東部地区開発について ３　第３保育所の跡地の公園整備について ４　防犯機能付き電話機の購入補助制度について ５　倒壊等の可能性のある危険な空き家への対策について
１３	日本共産党議員団 丹　野　直　次	１　市制５０周年を迎えるにあたって、府政への働きかけることについて ２　３回目のコロナワクチン接種について ３　教育予算増額及び環境、ジェンダー平等の教育学習について ４　留守家庭児童会運営を充実することについて

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	小野　哲	所属会派名	令和新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．公共施設の管理運営について	①「ゆめパレアむこう」の存廃判断に至る経過について ②「ゆめパレアむこう」の存廃判断に要する今後の検討事項と時期について ③ 新たな観光交流拠点「旧上田家住宅」の管理運営について ④ 女性活躍センター「あすもあ」の今年度の運営について
２．本市東部の道路整備について	① 市道 4049 を含む新幹線側道の土地の所有者と管理について ② 上記側道の拡幅整備の検討について ③ 府道伏見向日線の安全・渋滞対策について ④ JR 向日町駅東口開設にかかわる各事業の国庫補助確保の見込みについて
３．本市の上下水道事業経営について	① 水道基幹管路の耐震適合率向上の取組について ② 財源確保の取組について、具体案に乏しい記述であったように見受けられるが、どのように進めるかについて ③ 給水収益を確保するために、企業（大口利用）向け水道料金の改訂の検討について ④ 広域化（事業統合、施設管理の共同化、一元化）や様々な民間活用も視野に入れた検討をすることについて ⑤ 下水道事業において、経費回収率並びに収益的収支比率の低さが要改善課題となっているが、これらに対する取り組み状況について

傍聴者　配布資料

傍聴者　配付資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、ゆめパレア（市民温水プール・健康増進施設）の休館など公共施設のあり方について市民の声を聞き説明責任をすることについて	令和４年度の予算編成方針（示達）には一般財源が乏しく厳しい状況であり、令和４年度の財政見通しについても不透明状況であり、小・中学校等の公共施設の老朽化対策も喫緊の課題とある。３つの柱が示され信頼と共同で市民の声が届くまちづくりとある。①なぜゆめパレアを休館されるのか。開館しながら市民の声を聞き、市民への説明責任を行うことについてどうか。②ゆめパレアの整備計画はどうだったのか。③更新や修繕費用に３～５億円かかるとサウンデイング調査に記載されている。こんなに多額の費用がいるのか。④なぜ永守重信市民会館という名称を市長の独断で決めたのか。⑤市民公募して頂くか、せめて向日市民会館を残して頂きたいがどうか。⑥以前のようにこの会館を中央公民館機能を残して頂きたいがどうか。⑦しんどくてちょっと休憩できるよう公共施設での柔軟な対応をして頂きたいがどうか。
２、私道である陥没箇所の生活道路の安全対策を急ぎ安全と命を守ることについて	昨今の通学路の交通安全対策など安全な道路の要求は切実です。私道の陥没も非常に危険です 本市の私道の生活道路は約５０年前の住宅開発に伴ったものも多く老朽化が著しくなっています。向日市内は国道が約２キロ、府道は約１２キロ、市道は約１２８キロ、私道は約２３キロで合計約１６５キロと聞いております。とすると私道は全体の約１３．９％となり、国道と府道をあわせて約１４キロよりも市内での私道の占める割合は多くなっています。

	①市道の道路整備計画及び進捗率はどうか。②私道などの整備補助率を８５％に引き上げてきた事で私道整備申請と補助の状況はどうか。補助率を上げることはどうか。③危険な私道の陥没などの箇所を市が把握したら、自治会や私道の持ち主に補助制度などを周知して頂けないか。また通学路や生活道路の私道の陥没等は応急的な改修などを行い、歩行の安全を確保して頂きたいがどうか。④千葉県八街市の通学路の事故により本市でも通学路の調査を行い報告するとのことだが、その後どうなったのでしようか。
３、来年２月からの指定ごみ袋導入より資源ごみ回収の改善を急ぐほうがごみ減量になるのではないか。	コロナ禍で延期となっていた指定ごみ袋導入についての説明会が再開。カラス被害の質問ではカラスに見えないようなレジ袋などにいれてしまいこむのはいいとの答えでした。ごみ減量しようと思えばプラごみ関係ができていないという意見、夜に回収場所によくいかれる方は「夜にきちんと置いといたらいい」と言っているなど前夜のごみ回収も認めておられる方の意見でした。なぜごみ指定袋の導入かについては排出意識の向上とマナーと見える化、乙環の埋立地が満杯、約４２億円の経費節減になるとの説明でした。これらの理由なら指定ゴミ袋を導入しなくても今のままで改善できます。①生ごみや資源ごみの出し方の問題の周知を自治会や学校やいろんな方法で排出意識の向上とマナーなど徹底できる。指定ごみ袋を導入しなくても減量できるのではないか。②古着の回収拠点の場所の具体化と古着のみなのでしようか。③見えたら困る場合は黒色や青色のナイロン袋にいれ、指定ごみ袋で包んだら回収するとの事。二重のプラごみ袋の使用で見える化ができるのか。

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	松本　美由紀	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．日本郵便（株）との地域包括連携について	自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指すために、日本郵便株式会社との地域包括連携に関する協定締結を提案します。 この協定は、市町村と日本郵便株式会社とが、人的・物的資源を有効に活用して、地方創生の協働取組み及び住民サービスの向上等を図ることを目的としたものです。これまで多くの市町村と提携を行われ、具体的には地域見守り活動への協力、道路損傷・不法投棄等の情報提供等が挙げられます。 例えば、安心安全な暮らしの実現に向けた郵便局ネットワークを活用した取組としては、地域の見守り活動、道路損傷や不法投棄などの情報提供、災害時の被災者支援など。また、地域経済活性化に向けた支援としては、郵便局を活用した物産展の開催や来年度迎える本市市制５０周年の記念切手の販売、ポストのラッピング、未来を担う子どもの育成に向けた支援としては、郵便局の見学や職場体験、郵便局の空きスペースを活用してコロナ禍で一堂に会することが難しくなった子どもたちの作品展示等も可能であると考えられます。理事者のご見解をお伺いいたします。
２．第４向陽小学校および成安幼稚園周辺についての道路の安全について	当該地域の周辺には福祉施設の琴の橋などもあり子どもや高齢者などの往来も多く、何か事故などがあってからでは遅く、以下該当箇所の交通安全対策を実施して頂きたく要望します。 （１）徐行や減速を促すための注意喚起看板の増設や塗り直しについて 寺戸幹線１号と寺戸川の交差部分から成安幼稚園前の横断歩道付近についてカーブで見通しが悪いことから、車両スピードの減速を促すカラー舗装の整備また、注意喚起看板の増設を希望します。また、現在設置中の注意喚起看板も劣化し

	ているものが多く、改善をお願いしたい。 （２）第４向陽小学校周辺の路側帯について 狭い路側帯が多く、歩行者のすぐ横を車が通るため危険。グリーンベルトの整備を希望する。また、第４向陽小学校北側道路では、途中までしか歩道がなく、道路も狭い状態である。歩道整備や拡幅などの早期化、道路の補修、車両通行不可時間帯の取り締まり強化などをお願いしたい。 安全安心の暮らしを守るために、理事者のご見解をお伺いします。
３．医療的ケア児支援法案施行に関する今後の取り組みについて	子育てしやすいまちづくりの一環として、今年９月に国で施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について、本市の見解をお伺いいたします。 居住地域で支援に差が出ないよう、国や自治体、学校などの設置者は医療的ケア児と家族の支援に取り組む「責務」があると規定され、保護者の付き添いがなくても医療ケアが受けられるように、看護師などの配置を求めています。 医療的ケア児に必要である支援の一つ目の領域は、医療的ケア児は専ら自宅など同じ環境で過ごすことに伴う課題の解決です。そして、支援の二つ目の領域は、医療的ケア児のケアや健康管理等の看護を主に親が自宅で担うことに対する課題です。ほぼ 24 時間の看護を家族、主には母親が 365 日年中ほぼ休みなしで負担することで、慢性的な寝不足や疲労、命を預かることへの緊張感が蓄積し心身の負担感は重大なものとなってきます。 また、長岡京市においては、国の「医療ケア児保育支援モデル事業」等の制度を活用し保育所への看護師の配置の増員に努められているとお聞きしております。 本市では、今後、医療的ケア児への支援は具体的にどのようにお考えか、今後の方針をお聞かせください。 以上

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．　市制５０周年の事業について	① 明年、市制５０周年を迎えるが、今後発表される事業はあるのか。 ② さらに、企画・検討していることはどのようなものか。 ③ コロナ禍で向日市まつりが２年連続中止となったが、明年の５０周年の開催はどのように考えているのか。 ④ 市制 50 周年にあわせて、結婚届や出生届のオリジナル証・記念撮影用のパネルを作成すべきでは。 ⑤ 本市や教育委員会が執り行う行事、イベントに記念のグッズを作成してはどうか。 ⑥ 市内観光に訪れる方への本市のアピールとして記念のグッズの作成・配布・販売を行ってはどうか。 ⑦ ふるさと納税の返礼品として、市制 50 周年を記念する企画を検討しては如何か。
２．　フードドライブについて	① イオンフードスタイルでのフードドライブの収集状況を聞く。 ② 向日市まつりではフードドライブを実施されていたが、コロナ禍により 2 年連続中止となり、市民の関心が薄れてしまうことを懸念するが、本市の見解は如何か。 ③ コロナ禍による生活相談の中で、食料支援が必要と思われる方の状況と希望者の数について聞く。 ④ 生活困窮者の方への食糧支援をどのように対応されるのか。 ⑤ 生活困窮者支援としての食品寄贈の市民への呼びかけが必要ではないか。 ⑥ 常設の集積場所が必要ではないか。 ⑦ 寄付された商品に野菜等も含め、市や社協を通じて、必要とするところへ届けてはどうか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	和島　一行	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．コミュニティスクール導入について	１．第２次ふるさと向日市創生計画の令和２年度進捗状況において、学校教育の教育力の向上の中で、コミュニティスクールについての検討結果がＢである。コロナ禍であるが故、視察など思うようにいかなかったと察する。京都府内で実施されている小中学校の状況、運営委員の委嘱等のシミュレーション他行ったことの検討結果の詳細を伺う。 ２．令和３年度以降の導入に向けて段階的な導入の詳細、設置目標年度を伺う。
２.『あすもあ』の存在感について	事　項（質問・提案等） １．あすもあの館長はいつ設置になるのか。設置は諦めたのか。 ２．今年度の利用状況を伺う。
３．信号のない横断歩道について	１．物集女街道と永田交差点の信号のない横断歩道は一向に歩行者が安全に通行できる状態ではない。 前にも質問しているが進展はない。幼稚園児と保護者は大変困っている。どう対策をとるのか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 史跡指定された五塚原古墳の地、はり湖山を破壊する外環道路計画路線は早期に抹消することについて	40 年前から「外環道路建設反対住民連絡会議」や「はり湖周辺の自然を守る会」が、自然環境を守りぬいてきた。 ・貴重な文化財もでたことなので、空地となっている道路用地を向日市が活用できないか？ ・長岡京市、井ノ内地区で止まったこの道路用地は、いつまでこのままなのか？今後、どうなるのか？ ・SDGs にのっとって早期にこの道路計画にピリオドをうち、地図からこの路線を抹消すべきだが、どうか？
２． 地域の問題について	１　　西野地区の開発で急勾配となった危険な道路は、急坂の上から、滑り止めを増やし、冬のブラックアイスバーンに備えてほしいがどうか？ ２　　大牧地区で道路上に大きな陥没があり、以前にも近くであったので原因の究明が必要だがどうか？ ３　　老人福祉センター「桜の径」の駐車場のジャリ道は大きな溝があり、ズルズルと滑って、とても危険な坂道なので、アスファルト舗装をすべきだが、どうか？
３． 男性にとってのジェンダー平等の意義ある「フェアメン」キャンペーンを！	「フェアメン」とは、身近な人々に対して、常にフェア（対等）な態度で接し、暴力を決して「振るわない」「許さない」ことを言い、社会にある暴力に「沈黙しない」ポジティブな生き方を次世代に示し、行動する男性のことです。 「フェアメン」をめざす「ホワイトリボンキャンペーン」が各自治体で行われており、向日市でもくり返し開催してほしいがどうか？

４． 公衆トイレを増やすことについて	寺田東公園のバリアフリートイレの長年の封鎖に、市民や行政の粘り強い努力でオープンして、今や多くの市民、とくに子ども達に喜ばれている。 今後も公衆トイレを増やしてほしいが、どうか？
５． 若者や女性の自殺対策について	コロナ禍で、自殺者は去年の２万 1,077 人のうち、今年男性は 26 人減少したが、女性は 934 人も増加している。 また小学生が 15 人、中学生が 145 人、高校生が 338 人も自殺している。 「ゲートキーパー」の「TALK の原則」にのっとり、向日市でも「子どもの自殺予防リーフレット」や八戸市のように独自で「いのち支える向日市自殺対策計画」を策定すべきではないか？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、ジェンダー平等の社会を進めることについて	ジェンダーギャップは、１５６カ国中１２０位、日本のジェンダー平等の現状は世界から見て大きく遅れている。コロナ禍で可視化されたジェンダー不平等「女性が輝く社会」とは程遠い現実を証明した。ジェンダー平等の向日市を目指すため、まず、向日市でこそ力強くジェンダー平等を推進して頂きたい。 ①女性の採用を増やし、昇進・昇格を拡大して職位のステップアップを図る事について、家庭的責任に対するワークライフバランスのサポートなど女性が能力を発揮する環境を整備することはできているか。 ②男性の育休のこれまでの数と年度ごとの取得数は。 ③非正規職員の人数と男女比率は。 ２、向日市パートナーシップ宣誓制度が実用的で希望されるカップルが取得しやすい制度になり、将来的には、同性婚が認められる事を願って質問する。 ①制度が実質的な効果を伴う整備を進めていただきたいが、今後、そのような考えはあるか。 ② 市民のみなさんの理解をより深めるため、制度の周知をどのようにされるのか。 ３、７月からの生理用品の配布について ①７月から今まで、どのくらい利用されたか。 ②生理用品を小中学校のトイレなどの公共施設に置く取り組みを実現して頂きたいがいかがか。 ③生理用品を必要とするすべての方に届く方法として新たな配布方法を何か考えられないか。
２、保育行政について	１、保育所入所について 毎年、向日市は、入所が難しい状況が続いている。向日市で安心して産み育てることができる、そして子どもたちがのびのびと豊かに成長できるよりよい保育行政を進めるため、以下質問する。

	①来年度の保育所の待機児童解消の見込みはあるか。 ②保育士、看護師の人材確保への見通しはあるか。 ③令和３年４月から実施された、保育士奨学金返還支援事業の利用状況を伺う。 ④障害児保育について早急に入所できる対策をどのうに考えておられるか。 ⑤乳児の小規模保育園の切れ目のない保育は保障されているか。 ２、岡山県北区の認可保育園で園庭の遊具に首が挟まり２歳児の男の子が亡くなられた。向日市の保育所の遊具及び公園の遊具の安全対策について伺う。
３、児童発達支援・放課後デイサービスについて	障害児通所支援の向日市の利用上限は、児童発達支援の原則週１回（月５回）、放課後デイサービスは、週３回（月１５回）と全国的に見ても支給量が少ない現状です。就労希望は支給要件に含まれないが、市でも把握されているように、保護者の実態や希望では、支給量を増やすことが望まれている。厚生労働省の「障害児通園支援の在り方に関する検討会の報告書」によると親の就労を支える役割があることも提示された。 ①この報酬改定に伴う動きと向日市の障害をもつ子どもや保護者の実態を踏まえ、今後、改善する考えはあるか。 ②留守家庭児童会の対象でない子どもたちは、現在の利用日では、日々の生活の居場所がなくなる日が出てくる。このような場合の対応はどうされているか。 ③市の役割として、子どもの発達段階・特性の把握、受けるべき療育、事業所の療育内容等の把握、関係する課との情報共有、事業所へと繋ぐことをどのようにされているか。 ④ サービス支給を決定するマネージメント会議の内容や構成員、頻度など規定はあるか。 障害福祉施設の新型コロナワクチン接種について京都市、長岡京市と向日市のみ違う取り扱いであったため、接種対象になるまで時間を要した職員がでた。 ⑤今度の３回目の接種では、近隣市町と連携して立案するなど、改善していただきたいがいかがか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	石田 眞由美	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市・公園アップデート	現在、向日市には 116 の公園がある。概ね、自宅から 300m以内には１以上の公園があるという公園数の多い環境である。広い敷地の総合公園などはないものの、身近な公園があちらこちらに点在している。この身近に多く存在する公園をより活用し、健康福祉や子育て、観光、まちづくり等に活かせれば良いと考え質問、提案を行う。
２．向日丘陵の持続可能な竹林保全・整備と利活用について	本市北西部にある向日丘陵には、全国にも有名な良質な筍を産する竹林が広がっている。散策路、竹の径が整備され、その手入れの行き届いた美しい竹林の景観は市民の憩いの場として、そして本市の貴重な観光資源として活用されてきている。本市の宝でもある竹林を、農業×緑地景観×竹産業×観光等の相乗効果で持続可能とし後世に引き継ぎたいと考える。本年第２回(6 月)の定例会で、竹林の現状と課題、今後の方向性、竹の径の整備や活用について質問した。その答弁も踏まえ、整備や活用の進捗状況等を伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（~~総括質問~~・分割質問）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．ゆめパレアむこうは休館せず、存続の方策の検討を	向日市は、ゆめパレアむこうを来年４月から１年間休館し、廃止も含めた今後の在り方を検討する方向です。しかし検討のためなら、休館する必要はありません。休館せずに、どうすれば今後も運営継続できるかの方策を検討するべきではないか。 （１）市民の健康増進施設としてのゆめパレアむこうの価値を、どのように評価しているか。 （２）１年間休館することのデメリット・リスクについては、どうお考えか。今後のあり方の検討は、休館せずに運営を続けながら行うべきではないか。 （３）ゆめパレアむこうの今後についてどのように議論し、決定していく考えか？ 今後も運営継続できるようにするにはどうすれば良いか、市民の意見を聞いて検討すべきではないか。
2．不登校の子の親（保護者）への支援強化について	この６－７年、不登校が激増している。子どもが学校に行けなくなると、その子を最も支えるのは親（保護者）だが、子ども本人のみならず、親もどうして良いかわからずにいる。不登校の子どもを支援するためには、教育行政が親を支援する体制が重要と考える。 一方、当事者からは、「学校からの情報提供はほとんど無かった」「学校からの案内・情報がぱったりと届かなくなり、放っておかれ感が半端ない」という声をよく聞く。 （１）　教育委員会はどのようにお考えか。 （２）不登校の子をもつ親に対して、相談・支援の情報を能動的・積極的に届けることが重要ではないか。 （３）保護者への支援は、誰が担うべきか。 （４）不登校への対応について、SSW（スクールソーシ

	ャルワーカー）の役割が重要と言われる。向日市でのSSW の配置の現状と、具体的にどのような仕事をされているか。SSW の役割を教員や保護者はご存じか。 （5）教育支援センターを設置して常任の SSW を配置し、不登校だけでなく虐待など、児童生徒を取り巻く環境への働きかけを行う役割はとても重要だと思う。本市の取組について伺う。 （6）親の会など、不登校問題に当事者や支援者として直接関わっている方々との意見交換の場を持ち、連携して本市の施策に活かしていただけないか。
3．児童発達支援、放課後等デイサービスの支給量について	本市を含む乙訓圏域は、障がい児通所支援の支給量が少なく、利用する子どもの保護者から、改善を求める声がある。その原因と、全国的な水準に近づける方針・施策はあるのか、本市の考えを伺う。 （1）児童発達支援および放課後等デイサービスの支給決定日数について、全国的な数値と向日市の比較を示して頂きたい。 （2）向日市の支給決定量は、全国平均と比べて少ないと思われるが、その理由について見解を伺う。 （3）サービスの支給決定量を全国水準に近づける方針はあるか。あるならば、そのための施策について伺う。 （4）向日市をはじめ乙訓圏域では、こうした障がい児通所支援の利用日数に関する実質上の「制限」が公開されていない。実態を公表すべきではないか？
3．向日市お買い物応援クーポンに名前・住所の記入は必要か？	（1）「向日市お買い物応援クーポン」を使うためには、世帯主の住所・氏名の記入を求める理由と根拠は何か？ （2）世帯主の住所・氏名を記入しなくても使えるようにできないか？ （3）「1世帯8枚までしか使えない」と制限する根拠は何か？

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団
表題	質問事項（質問の要旨）		
１．岸田内閣の政治姿勢について市長の見解を問う	① 総選挙では国民は憲法改正を要求していませんでした。改憲政党も選挙の争点にしていませんでした。それにも拘わらず、選挙後岸田首相は維新の会の改憲のあおりを受けて、改憲のための憲法審査会を毎週開催するべきなどと、憲法９条改憲を目的にしようとしています。現憲法は先の悲惨な戦争を二度と繰り返さないために、その反省に立って作られたものであり、特に９条はその中心です。変えるべきは憲法改正ではなく憲法に基づく政治を行うことです。その観点からも県民無視の沖縄県辺野古に米軍基地建設はやめるべきです。 ② 外交についてもアメリカの言いなりの外交から自主的外交に変えなければなりません。東アジアの一員として中国の武力による海洋進出にも国際条約に基づき、国際世論を力に話し合いの外交が必要です。軍事対軍事では経済的にも軍事費の増大につながり、衝突すれば双方に大きな惨害が及び国民には何の利益も生み出しません。先制攻撃の敵基地攻撃などは、現憲法では許されるものではありません。それよりも唯一戦争被ばく国として核兵器禁止条約に署名調印し、核兵器保有国と非保有国の橋渡しの役割を担うべきです。		
２．人類の未来のための地球温暖化対策	向日市の環境基本計画策定委員会でも、目指すべき環境像の基本目標取り組みとして、「気候変動対策を推進するまち（地球環境）」に位置付け危機に対応することを最重要課題に位置付けています。 策定委員会は、市民の声を聴くために、「市民・事業者アンケート」を実施され集約の結果「地球規模の環境問題に関心がある」が特に高い回答が寄せられています。一方では、「新向日市環境基本計画」があることを知らない人の割合が７割を占めており、さらなる基本計画の普及の必要性が求められています。 向日市の温室効果ガスの削減目標については、２０３１年ま		

	での１０年後の目標を４６％の削減にすることになりました。 質問いたします。 ①安田市長の地球温暖化に対する認識と決意 ②CO２を減らすために向日市の電力購入も自然エネルギーへの変換が必要ではないか。 ③ワークショップの開催が決まりましたが、いつ頃、何回開催されるのでしょうか。 お答えください。
３．市民の声を聞き入れた牛ケ瀬勝竜寺線の変更について	説明会で出された意見要望を紹介いたします。 ① なぜ昭和４２年の計画が今頃出て来たのか。 ②５向小学校近くを通るが計画に練りこまれていない、現在歩道も確保されていないが、車優先よりも先に改善すべき。 ③立ち退きはどうなるのか。 ④道路が向日市民にとって何の利益をもたらすのか、向日市に来たのは自然環境が豊かであったから。 ⑤住宅地は子供がよく遊んでいるので危険な場所です、周辺住民への調査はしたのか。 ⑥外環からの抜け道が増えるだけではないか。東西に抜けられる道が必要。 ⑦地権者から全部の用地を買い上げてもらいたい、中途半端に残っても使えない。 ⑧計画に係る住宅の方からは直接説明を受けたい。リフォームをしたところ。 ⑨１７１号線につないだほうがいい。環境アセスメントは必ずやってもらいたい。 ⑩コミバスの利便性を高めてほしい。 ⑪今でも車が通ると家が揺れる、大型車が通るようになるとさらに揺れるようになるので困る。 ⑫向日市の財政負担はいくらかかるのか。 その他たくさんの意見が出されました。 質問いたします。 １，向日市の財政負担はどのくらいの見積もりをしているか？ ２，計画変更を中止し、５ 向小学校通学路の歩道を優先確保すべきと考えるがどうか。 ３，計画を強行することなく、市民に納得のいく説明責任を尽くすことを求める。 ４，通学路安全対策のための一斉点検結果とその後の対策はどのようなものか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．市長、市議Ｗ選挙について。	2019 年はわずか 3 ヶ月の間に、市民に 4 回も投票所へと足を運ばせる選挙が行われた。 投票率を上げるためには、市議会議員選挙と参議院議員選挙を同時にするべきであると質したが、できない理由を並び立てるばかりで、結局実施には至らず、市議選の投票率は案の定 38.91%と過去最低となった。 選挙管理委員長は、経費削減に加え、衆参、市議選のトリプル選挙の回避、投票率向上のために、統一地方選挙での市長選と市議選の W 選挙が有効であると述べられている。 今一度、市長選と市議選の W 選挙実施の意義を選挙管理委員長にお示し頂きたい。 また委員長は、W 選挙の実施方法として「議会の解散」があるということをお示し頂いた。 次の統一地方選に合わせるために、議会の解散時期、手続き方法をお示し頂きたい。
2．「官から民へ」民間活力で向日市を明るく元気に。	安田市長は、民間活力で本市を発展させていく施策を打ち立てられている。 我々日本維新の会の基本理念も同じである。 向日市および乙訓圏域で、地方公共団体が運営している事業で、民間と競合している、あるいは民間でも運営できる事業は少なくない。 民間でもできる事業は民間に任せて、地方公共団体でしかできない事業に注力するべきだと思うが、市長の考えをお聞かせ頂きたい。 JR 向日町駅東側の開発や、森本東部地区の開発、阪急洛西口駅西部の商業施設誘致等、民間活力で向日市を明るく元気にする施策の展望をあらためてお示し頂きたい。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1，JR向日町駅について	再開発計画では範囲を限定し、最小限の地権者で素早く事業を進められるようにしたとの事であった。計画予定地の付近に住宅地が近接しており、通常の駅前再開発などでは考慮される再開発区画と旧来からの住宅を分離するようなスペースを確保する余地はほとんどない。128.5mという京都一高い建築の真横に戸建ての住宅が立ち並ぶという光景が出来上がることになる。「歴史と文化のまち向日市」として、観光、ビジネス、その他で来訪された方の、最初に目に入る光景としての印象はいかがであろうか。「住んで良かった向日市」「住み続けたい向日市」を目指す本市も、住民の声を受け入れるべきではないか。 この再開発事業で市の負担の軽減を図るとされていた。事業総額は230億5千万円、市負担32億3千万円となっている。以前に示された額は事業総額230億円、市負担32億円であり、数字としてはほぼ変わりはないものである。16年前の橋上駅舎計画より12億円ほど高くなっている。一方で再開発事業の収益ビルであるタワーマンションは当初想定されていた100m36階建て300戸から128m36階建て330戸へと変わっており30戸分増えている。分譲販売した際の売り上げは、東向日駅前を参考にすれば、13億5千万円分ほど増えているわけであるが、このような数字を見れば、再開発事業はJRの収益向上に対して補助金を出すことになるとも思える。市民の方からはJRの儲けのための開発であるとの声も上がっており、なぜこの事業、この金額なのかが疑問視されているところである。自由通路事業の市負担額は21億円ほどとなっており、負担は増えているとも言え、JRの企業収益の向上に対する支援であるとの疑念を補強している。 1，真横に住宅街が広がる開発条件について、組合として講じる風害等周辺への対策について

	2，市負担がどのように軽減されたのかについて 3，市街地再開発事業における総事業費と市負担が変わらずにタワーマンションの高さと戸数が増えたことについて 4，タワーマンションについて、現状では斜線制限等各種規制で建設できないのではないか 5，事業全体についての市民への広報について
2，森本東部地区開発について	現在のC棟の工事では建物内の工事を夜間でも進めているようである。建設完了後、運用を開始してからではあるが、地域住民との協定で、夜間帯に住宅方向のブラインドを下ろし、光が漏れないようにしたという例なども伺っている。本地域は、工事中のことではあるが、住宅地に近づけば照明等の明るさについて問題とされる方も出てくるのではないかと想定され、一定の配慮が必要なのではないかと考える。
3，第3保育所の跡地の公園整備について	周辺地域の子育て世帯を中心に子どもが遊べる公園の整備を望まれる声が出ている。「(仮称) 第3保育所跡公園整備事業」として敷地南側を利用して300㎡の公園が予算計上されていたが、残置の売却については中止となり、公園整備に関しては、特に説明の無いままに予算不執行となっている。小規模保育所の誘致を試みておられるとの事であるが、事業者からの評価は芳しくないとお聞きしている。それなりの面積のある貴重な市有地であり、緑の確保の点からも公園の整備が望ましいと考えるがいかがか。
4，防犯機能付き電話機の購入補助制度について	乙訓防犯協会・京都府電機商業組合・向日町警察署による防犯機能付電話機購入の費用補助がされているが、近隣の京田辺市では追加の費用補助を事業として行っており、京都市においては電話機を支給されている。特殊詐欺被害は被害者本人の金銭的被害や精神的なショックもさることながら、家族にとっても大きな心配事であり、最近では防犯機能付きの電話機に取り換えられる家庭も増加している。本市でも被害の増加に鑑み、普及の促進と市独自の追加の補助制度を検討されてはいかがか。
5，倒壊等の可能性のある危険な空き家への対策について	本市でも本年3月に「向日市空家対策計画」を策定された。また、これに基づき本年6月には「(仮称) 向日市空家等対策の推進に関する条例（案)」に対するパブリックコメントを行っておられる。その後の進捗についてお伺いする。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1　市制５０周年を迎えるにあたって、府政への働きかけることについて	① 乙訓医師会・医療機関に働きかけや府乙訓保健所に体制の充実要望をされているか。 ② 向日台住宅団地の建替えに保育所新設計画にあわせ高齢者施設も要望すること。 ③ コミュニティバス「ぐるっとむこうバス」の改訂コースの進捗について。 ④ コミュニティバス運行経費に対する国　・府への補助金申請と来年度の収支見込みは。
2　３回目のコロナワクチン接種について	① ３回目のコロナワクチン接種、実施体制を問う。市民への周知と予約受付について電話回線確保の状況は。 ②今回接種会場は向日市民体育館に提案されていますが、接種希望者の会場へのタクシー移動の便宜が必要と考える。 ③ ３回目のワクチン接種に係る事業費の契約を競争入札しないのか。 2回の接種事業においてはではコールセンター設置や集団接種会場運営等が随意契約で(株) ＪＴＢに委託されている。 官公庁が業務を発注する際は、原則として「競争入札契約」にしなければならないとなっている。市の見解を問う

3　教育予算増額及び環境、ジェンダー平等の教育学習について	① 子どもたちの様子と学校での先生方の取り組みで感染者が減少しているときだからこそ児童・生徒のコロナ感染対策・検証すべき課題はどうか。 ② 教育予算の増額で保護者負担をなくしていく対応を伺う。所得、賃金格差の広がりなどから義務教育費の完全無償化すべき。（福島県、山形県での給食費無償化。以前あった修学旅行の補助金制度を復活等）現在の保護者負担の実態をどのように考えているのか。 ③ 市がすすめてきた「少人数学習」において、来年度の入学児童生徒数、クラス編成の増減の見込みについて。 ④ ＩＣＴによる学習の変化と成果について伺う。　電波・通信障害やシステムトラブルと端末タブレット損傷などアクシデントなどの対応について伺う。これからの教育、学習に人権と地球温暖化、原発問題といった教育が大事と考えるが、ジェンダー、ＬＧＢＴＱ、地球環境温暖化問題など正しい知識の学習をすることについて
4　留守家庭児童会運営を充実することについて	① 夏休みは児童数の増加で４０人を超えているクラスがある。市の設置基準は条例・基準改正時において議論もあったが、参酌すべき基準についての見解を問う。 ② 学校登校日よりも長く土曜日の開所と夏休みも開所で年 250 日の開所をされていることから職員の処遇改善について。 ③ 施設整備と改善について伺う。児童の健康、衛生の保持に気を使っていただいているが、宿題、読書、学習をする場でもある。第３学童ではＬＥＤ照明となっていた。今後のＬＥＤ照明化計画は。